

北海道帯広農業高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和6年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) アグリマイスター顕彰制度を推奨して、農業教育の質を保障 (2) 農業の高度化に対応した農業教育の実践 (3) 教科等横断的な視点を取り入れた授業・実習の実施	(1) アグリマイスター顕彰制度（アグリ4名、ゴールド4名、シルバー22名） (2) スマート農業を推進し関係機関と連携し実施 (3) 総合実習で横断的学習を実施	(1) ブラチナ・ゴールド取得者増加に連動した農業教育の質の向上 (2) 継続的に実施できるための予算確保	5
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 新規就農プログラムを活用した、幅広い視野を持った農業の担い手を育成 (2) 海外農業研修と国際交流の実施	(1) 講演会を年7回実施 (2) 海外農業研修への参加（ニュージーランド6名）、シンガポール学生（3名）との交流事業の実施	(1) 研修先及び現地エージェンツの確保と調整 (2) 海外との交流事業の複数回展開	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 農業・畜産経営に生かすことのできる実践的な生産技術の習得 (2) JGAP認証の継続と農場HACCP取得に向けた学習をとおして農業後継者を育成する	(1) 地域、関係機関と連携しスマート農業の実施 (2) GAP指導員取得を目指す農業後継者が継続的にいる。	(1) 地域、関係団体との継続した支援・援助・連携体制の確立 (2) 継続への予算の確保、施設整備、各種書類の整理	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 食の安全・安心教育を徹底し、食料供給のための衛生管理意識や倫理観の育成 (2) 地域貢献する林業・農業土木技術者の育成	(1) 商品検査・販売時の検品の実施 (2) 森林・土木関係の進学・就職関連率（森林50%、土木61%）	(1) 検品の効率化、検査費の予算化 (2) 専門職への興味関心の維持へ向けた具体的取組	4
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 環境に配慮した持続可能な生産技術の習得 (2) 資源循環型農業の実践による持続可能な環境の創造	(1) GAP取得作物を適性に栽培し、有効に活用することで環境に配慮した農業を実施 (2) バイオガスパラント活用、消化液圃場散布	(1) GAP取得から環境教育への意識付け (2) バイオガスパラントの老朽化による修繕費の増加	4
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 各種販売イベントへ出店することで生産、加工、販売、消費までの一環した農業教育の実践 (2) 「食農教育」の学びをとおして学校開放授業や出前授業の実践 (3) 学校林で産出される木材の有効活用	(1) 事前学習を通しての各種イベント、販売会の実施 (2) 圃場を活用し障害をもつ人たちの農業や子ども食堂との連携 (3) 丸太販売、木工製品の作成	(1) 販売会に向けた商品の確実な検査。 (2) 農業クラブ、各科と連携し、継続して実施 (3) 販売方法の確立	4
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) 農業生産の中でICTを用いた学習に積極的に取り組む (2) スマート農業・スマート林業の積極的な活用と農業現場におけるニーズの確認	(1) 地域農協や民間企業と連携しドローン等を活用したICT学習の実施 (2) 関係機関、地域農協、企業、帯広畜産大学との連携した農業現場で使える技術の学習	(1) 継続的に実施するための内容の充実、事前事後指導の充実 (2) 年間を通し活用・実施できるよう、さらなる連携強化	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 地域防災を意識した農業経営や環境教育の実践 (2) 災害に強い森林づくりへの取組 (3) 停電等の災害時の対応への取組	(1) 防災意識の向上 (2) カラマツ人工林保全及び長伐期化の研究 (3) 日常的に情報共有の実施	(1) 緊急時の対応、発電機等の確保 (2) 長期的な環境保全の取り組み (3) 危機管理へ向けた日常的反確認	5